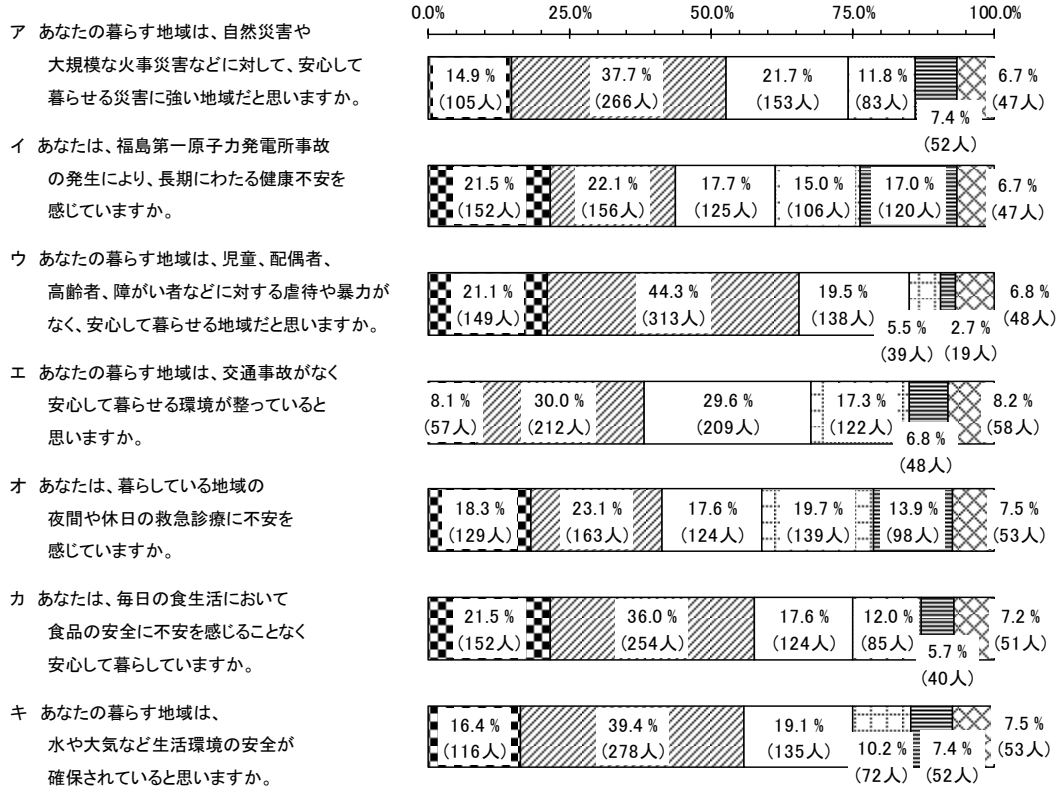
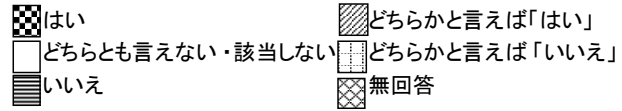


6. 安全で安心な県づくりについて

(1) 安全・安心の現状

問 25 次にあげたア～キの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。
それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

全 体
(n=741)



「はい」と回答した人の割合をみると、〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉と〈カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉（いずれも21.5%）が最も高くなっている。次いで、〈ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。〉（21.1%）が続いている。

「はい」と「どちらかと言えば“はい”」を合わせた『はい』計の割合をみると、〈ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。〉（65.4%）が最も高く、7割弱となっている。以下、〈カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。〉（57.5%）、〈キ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。〉（55.8%）、〈ア あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いますか。〉（52.5%）が5割台、〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉（43.6%）、〈オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。〉（41.4%）が4割台、〈エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。〉（38.1%）が3割台となっている。

一方、「いいえ」と「どちらかと言えば“いいえ”」を合わせた『いいえ』計の割合は、〈オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。〉（33.6%）が最も高く、3割強となっている。以下、〈イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。〉（32.0%）が同じく3割台、〈エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。〉（24.1%）が2割台となっている。